

Ⅳ 卓 話

職業奉仕部門委員長 杉村 幹夫様



職業奉仕理念の誕生と発展について

「すべてはクラブ活性化のために実り豊かな奉仕を目指して」

＊ロータリーは以下の分野に重点を置いて活動しています

- ・ 平和の推進・疾病との闘い・水と衛生
- ・ 母子の健康・教育の支援・地元経済の成長

＊これからの職業奉仕活動について

クラブの活性化を考えた時、その基本的な活動がどうあるべきかを見通さなければなりません。ロータリアンがそれぞれの職業上の関係を通して、奉仕の理念を分かちあえる為の環境をつくるのが求められており、また奉仕の実現にむけてさまざまな場面での育成や支援が必要とされます

＊職業奉仕はロータリーの核心であります

職業奉仕は四つのテストの中に全てがあると云われています。四つのテストこそが職業を通して、社会に奉仕する基本的理念があり、お互いにロータリアンとして友情と信頼を深め、公平で公正であることを基本に、友情を一層深めて連携して、地域社会に貢献することが真の職業奉仕であると思います。

＊職業奉仕の真髄

職業奉仕委員会、これほどわかった様で、わかりにくいものはないと思っています。なぜ職業が、奉仕なのか、利益追求、金儲けの職業が、人助けの奉仕になるという考えは、ロータリー独特のものです。相手は喜び、それを見て自分も喜ぶ、これをロータリーでは職業の質を高める職業奉仕といわれています。つまり、経済価値の尺度だけではなく、精神的な価値も重要といわれております。「客も良かれ・己も良かれ・客は己よりちょっと良かれ」これが職業奉仕の真髄だそうです。

＊職業奉仕と社会奉仕の区別？

職業奉仕・・・奉仕活動によって受益者が自分自身
社会奉仕・・・受益者が自分以外の地域の人々

＊2012-13 年度 RI 会長 田中作次氏の言葉

ロータリアンは日常の職業活動を通して自分の職場の従業員取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源で有る、道徳的能力を向上させることに努めて居ます。この様な仕事の仕方を、ロータリーでは、職業奉仕と呼んでいます。

＊ロータリアンがめざすもの

奉仕理念を学びながら、奉仕の心を育み、自分自身を磨き世のため、人のために、国際貢献、社会貢献して行動していきます。

＊ポール・ハリスのことば

世界は絶えず変化しています。私たちは、この変化する世界とともに変わっていく心構えがなければなりません。ロータリー物語は、繰り返し、繰り返し、書き直す必要があるでしょう

＊「奉仕の理念」は究極の利他主義へ深化

ロータリーの「奉仕の理念」は 100 年前のままではない。数多のロータリアンによる奉仕の実践の積み重ねによって「奉仕の理念」という人生哲学は、他者のために尽くすことが即、自らの幸せ（喜び）になるという究極の利他主義に深化・成長していった。

“実り豊かな奉仕を目指して”



V. 出席・ニコニコ報告 森田副委員長

須田 清	巨人軍目指そう日本一
須田 清	杉村部門委員長ようこそ
盧 聖煥	杉村委員長ようこそ今日はよろしくお願いたします
今村 勲	杉村部門委員長卓話ありがとうございます
大杉 能弘	杉村部門委員長卓話ありがとうございます
切通 勇次	杉村様ようこそ！
田中 一任	本日もよろしくお願いします
藤原 忠雄	職業奉仕部門委員長杉村様卓話に来てくれてまして本当にありがとうございます これでもメンバーに顔が立ちます 楽しみにして居りました
榎 孝夫	杉村様よろしくお願いします
森田 康之	杉村様卓話楽しみにしています

10 口 12,000 円 累計 154,000 円

会員	出席	計算数	MU	%
19	9	15	0	60